キャラクター名
去場 七佳（さるば ななか）

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン エンジェルハィロゥ	ワークス	FHチルドレンB	カヴァー	ヴァイオリン弾き
オプショナル		年齢	14,5くらい？	性別	男
覚醒	渇望	衝動	加虐	初期侵食率	32 %
出自	疎まれた子	経験	平凡への反発	邂逅	欲望：進化

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1		0			1
感覚	4	1	3			8
精神	2		0			2
社会	1		0			1

HP	24
行動値	18
(非装備時)	18
戦闘移動	23
全力移動	46

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	4		ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	2	
運転：			芸術：			知識：			情報： FH	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
FHG-666	射撃	9r+4		6		PE38/この武器を用いた<射撃>判定のダイス+1個
		0				
ファンタジア・ベティカ	射撃	9r+14		16		侵蝕7/コンセ+居合い+小さな塵
@100-	射撃	12r+16		18		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
（元：遺産継承者：？）	P	N		
破壊の子	P	N		
ｼﾅﾘｵ:"研究者"一色寵子（ひいろ ちょうこ）	P 好奇心	N 猜疑心		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6	残り財産P： 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
コンセ：ハヌマーン	2	2	メジャー	-	-	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	-	
効果： C値-Lv（下限7）								
居合い	5	3	メジャー	-	-	白兵,射撃	-	
効果： 判定の達成値+[Lv*2]/ラウンド1回								
小さな塵	5	2	メジャー	武器	-	射撃	-	
効果： 攻撃力+[Lv*2]								
マシラのごとく	4	5+2	メジャ	-	単体	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	80↑	
効果： 攻撃力+[Lv*10]/攻撃の判定ダイス-5個/シナリオ1回								
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

どこか人間離れしたような雰囲気のある少年。
度重なる実験のため、身体のあちこちが元とは異なっていると思われる。
薄汚れたヴァイオリンを携える彼は、元FHチルドレン。今ではアトランティスの一員である。

一般的な子供としての生活は全く知らなかった。
正体も知らぬ遺産を行使し敵を殲滅し続けてきた彼にとっては、戦いこそが全てだった。
むしろ、それ以外に何があるというのか。周囲もそれ以外を求めなかった。
戦わない時はせいぜい、物心ついた時から何故か持っていたヴァイオリンの演奏をするくらいしかない。
勿論、それを褒め称える者もない。

自分の置かれた状況について深く考えることはしなかった。
彼が変わったのは、UGNの研究施設に移ってからだ。
さしものFHチルドレンでも根を上げるくらいには実験は過酷で、確かに心身共に限界だったし、逃げ出したいという思いはあった。
あの時は必死だった。ゆえに、まだ何も『考えて』いなかった。

一色寵子の助けを得て実際に外に出たはいいが、冷静になった彼は、ふと『考えて』しまった。
「遺産の力も失い、戦うこともなくなった自分には、果たして存在価値があるのか？」

『自由』とは、かくも残酷なものか。
遺産を失い、生きる目的も失った彼にはかろうじて『人』としての名前と、忌み嫌われたコードネームのみが残った。
<ルシエルナガ>と聞けば震えあがる者も多い。かつて強力な遺産を行使したFHチルドレンの呼び名だ。
そして、『去場七佳』。一色寵子から新たに与えられた、ただの子供の名前。